

Period Poverty

生理の貧困

最近マスメディアなどでも取り上げられることの多い「生理の貧困」という問題。本セミナーでは、これをテーマに、イギリスの研究者および映像制作のスペシャリストであるカースティン・マックロード氏と、日本の研究者であり活動家でもある長島美紀氏を招いて、月経に関連してさまざまな問題をかかえる女性たちに目を向け、ジェンダーの視点から議論したいと思います。



カースティン・マックロード (エディンバラ・ネピア大学)
Kirsten MacLeod, Ph.D. (Associate Professor at Edinburgh Napier University)

生理の貧困をテーマにしたドキュメンタリーフィルム“Bleeding Free”から
Bleeding Free: A Documentary Film About Period Poverty



長島美紀 (プラン・インターナショナル・ジャパン)
Miki Nagashima Ph.D. (Plan International Japan)

生理からみる日本のジェンダー課題：機会損失・スティグマをめぐる私たちの問題
Gender Issues in Japan as Seen through Menstruation:
The Challenges Posted by Lost Opportunities and Stigma

司 会

仙波由加里 (お茶の水女子大学ジェンダー研究所)
Yukari Semba Ph.D. (IGS, Ochanomizu University)

言語：英語(日本語逐次通訳付き) 通訳者：松村直樹(Colts Works)

2021年7月16日(金) 17:00~19:00(JST)
9:00~11:00(GMT)

オンライン開催
(ZOOM Webinar)

事前申込・登録制(参加無料)
右のQRコードか当研究所のHPからお申し込みください

お問合せ：ジェンダー研究所 igsoffice@cc.ocha.ac.jp

